

安全運転 ほっと NEWS



平成19年11月号

今月のデータ

12.7件

夜間に発生した、1,000件あたりの死亡事故件数(平成18年中)です。昼間の約2.7倍にのぼり、速度超過と危険の発見遅れが原因にあげられます。

TOKIO MARINE
NICHIDO
MILLEA GROUP

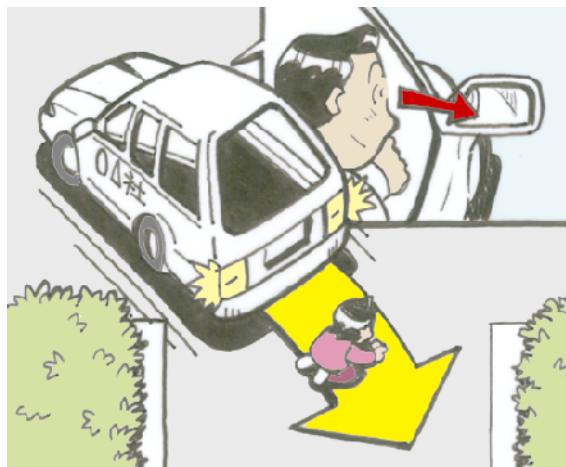
死角にひそむ 危険を読む能力を高めよう！

車体の死角に隠された危険を予測する

ピラーの死角

自動車を運転していると、見えない箇所(死角)があります。この死角に入る車や歩行者に気づくことが遅れた結果、交通事故を起こしてしまうケースが多く見られます。

たとえば、ピラーがつくる死角に二輪車は簡単に隠れてしまうので、顔の位置をずらすなどして速やかな発見に努めましょう。



後方の死角

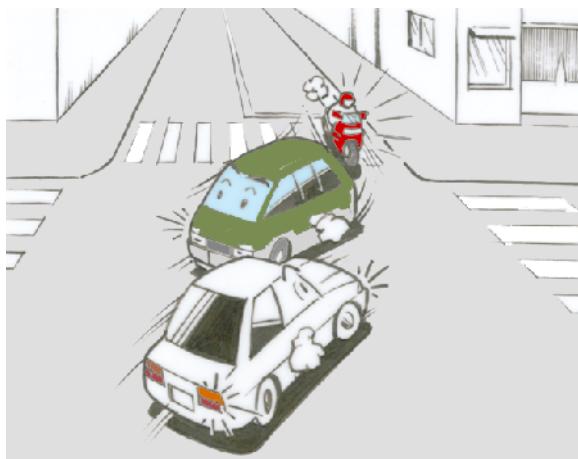
死角が大きいバック時は、安全確認を十分に行いましょう。面倒くさがらずに一度降車して後方の状態をチェックしたり、同乗者がいれば誘導してもらいましょう。また、バックアイカメラは非常に優れものですが、頼りすぎると周囲の状況確認が疎かになるので、自分の眼での確認も必ず行う習慣をつけましょう。

ドアミラーの死角

左右の死角は、ドアミラーを活用して確認しましょう。ただし、確認できない死角部分は想像以上に大きいため、右左折時や車線変更を行うときなどは、二輪車を巻き込まないようにドアミラーだけに頼らず、死角になるところは必ず自分の目で確認しましょう。



他車がつくりだす死角にも要注意!



対向右折車がつくる死角

死角は、他車が作りだすこともあります。交差点右折時に、対向右折車が死角をつくって対向車線を確認しづらくなることがあります。

このような場面に遭遇したときは、状況が確認できる位置まで慎重に進行し、そこで一旦停止して対向車の有無を確認しましょう。



死角からの飛出しを予測しておこう

トラックやバスが駐停車していると、車体が大きいため歩行者を隠してしまいます。大型車の横を通過する場合は、わずかに見える足元や人影がないかを注意深く確認し、「人が飛び出してくるかもしれない」と予測して、いつでも止まれる速度まで減速しましょう。

ここが変わった! 法改正 ③

● 《道交法》飲酒運転等に対する罰則を強化

酒酔い運転及び酒気帯び運転をした運転者に対する罰則が大幅に引き上げられました。また、酒酔い運転・酒気帯び運転の罰則の引上げにともなって、薬物の影響その他の理由により正常な運転ができないおそれがある状態で車両を運転した場合の罰則についても同様に引き上げられました。

酒酔い運転(下命・容認も同じ)

5年 以下の 懲役 または **100万円** 以下の 罰金

酒気帯び運転(下命・容認も同じ)

3年 以下の 懲役 または **50万円** 以下の 罰金

ご用命・ご相談は…

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム 株式会社
INSURANCE SYSTEM CO.,LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL http://www.hokensystem.co.jp

東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内1-2-1
TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590
URL http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/

担当営業課